

# 2020年度支部保険者機能強化予算 策定に向けた意見交換について



広報部鳥 けんぽん  
©2018 協会けんぽ大阪支部

# ● 支部保険者機能強化予算の概要

---

## 《2018年度までの支部の予算の概要》

- 協会の予算(業務経費等の事務費)は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。
  - ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算(基礎的業務関係予算)
  - ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組を推進するために必要な予算(特別計上関係予算)
  - ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組を推進するために必要な予算(保健事業予算)
- このうち、②の特別計上関係予算については、支部の裁量により予算を増額することもできたが、予算枠を超えた分については、支部保険料率(都道府県単位保険料率)に直接的に反映させる仕組みとしていた。

## 《問題点》

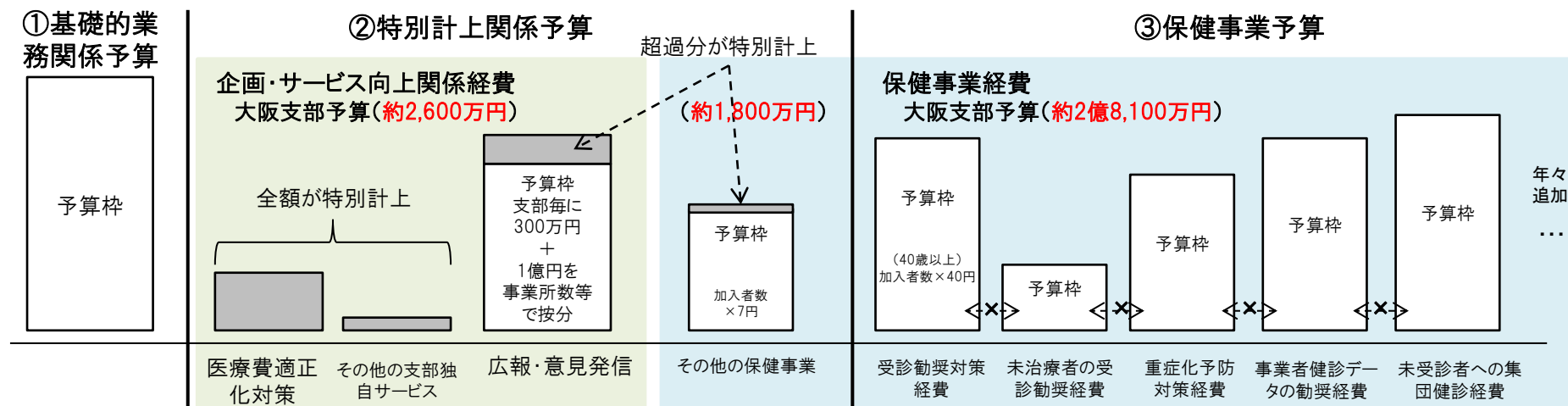
- ②の特別計上関係予算については、協会発足時に策定された仕組みであるが、現在の協会の基本方針である医療費適正化等の保険者機能の推進に積極的な支部ほど支部保険料率が上昇するリスクがあり、各種取組に消極的にならざるを得ない部分もあった。
- ③の保健事業予算については、措置対象が年々追加され、予算の枠組みについても分野毎に分かれているなど、本部・支部ともに事務処理が煩雑となっていた。

## 《2019年度からの支部の予算体系》

- 医療費適正化等の保険者機能を発揮するべきとの支部評議会でのご意見も踏まえ、2019年度から支部の予算について、新たな予算体系へと変更する。
- 平成31年度からは、特別計上関係予算については廃止し、①基礎的業務関係予算、②支部医療費適正化等予算、③支部保健事業予算の予算体系へと変更する。
- このうち、②及び③の予算については、「支部保険者機能強化予算」として、予算の枠組みとしては一本化するなど支部が扱いやすいものとした上で、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、支部の予算額についても拡充する。

# ● 見直しのイメージ

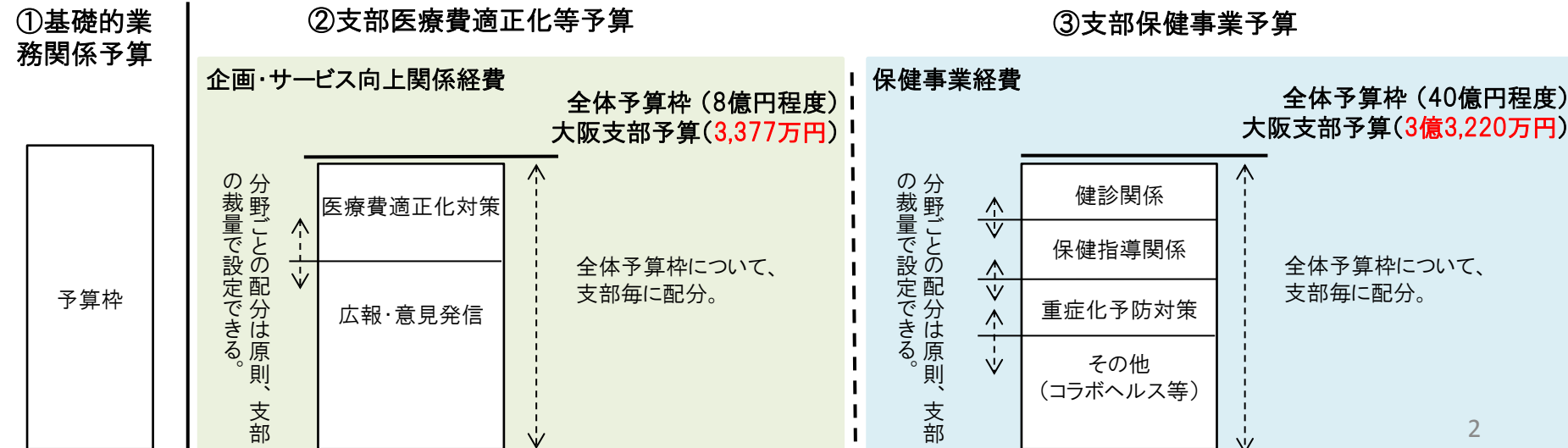
## < 2018年度までの予算体系 >



見直し

## < 2019年度からの予算体系 >

### 支部保険者機能強化予算



## ● 2019年度の協会けんぽ運営の基本方針

平成31年度は、今年度からスタートした第4期保険者機能強化アクションプラン及び第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）について、平成30年度における各取組の状況をKPIの達成状況等により把握・検証し、各取組を着実に実施することにより、保険者機能の発揮を確実なものとするのが求められる年度である。

また、今後の現金給付等に係る業務処理体制全体の見直しを行う業務改革検討プロジェクトを推進する。以上のことを踏まえ、平成31年度の協会運営の基本方針は以下のとおりとする。

### 基盤的保険者機能

#### 【目的・目標】

基盤的保険者機能を盤石なものとするため、現金給付等の業務の標準化・簡素化・効率化を徹底する。併せて、日々の業務量の多寡や優先度に応じた柔軟な業務処理体制を構築し、業務の生産性を向上させるとともに、次期システム構想を見据えた業務処理体制の見直しを進める。

#### 【主な重点施策】

##### ● 現金給付の適正化の推進、効果的なレセプト点検の推進

- ・現金給付を受給するためだけの資格取得が疑われる申請の重点審査
- ・傷病手当金と障害年金等の併給調整の確実な実施
- ・システムを活用した効果的なレセプト点検の推進

##### ● 新規返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

- ・資格喪失処理後、すみやかな保険証返納回収の徹底
- ・債権の早期回収と、保険者間調整及び法的手続きによる返納金債権回収率の向上

##### ● 業務改革の推進に向けた取組

- ・次期システム構想を見据えた業務処理体制の見直しを行う業務改革検討プロジェクトの推進

## ● 2019年度の協会けんぽ運営の基本方針

### 戦略的保険者機能

#### 【目的・目標】

戦略的保険者機能の発揮をより確実なものとするため、第4期保険者機能強化アクションプラン、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく取組を着実に実施するとともに、ビックデータを活用するなどして、将来を見据えた戦略的な対応を検討する。

#### 【戦略的保険者機能の発揮により実現すべき目標】

- I 医療等の質や効率性の向上
- II 加入者の健康度を高めること
- III 医療費等の適正化

#### 【主な重点施策】

- **ビックデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供**
  - ・事業所単位での健康・医療データの提供に係るツールの標準化
- **データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施**
  - i) **特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上**
    - ・特定健診受診率が低迷している支部の底上げを図るための調査研究の実施
    - ・調査結果を踏まえた支部別スコアリングレポートのブラッシュアップ
  - ii) **特定保健指導の実施率の向上**
    - ・新たな特定保健指導の手法の検討及び効果の検証
  - iii) **重症化予防対策の推進**
    - ・未治療者に対する医療機関への受診勧奨の確実な実施
  - iv) **コラボヘルスの推進**
    - ・健康宣言事業所の更なる拡大
    - ・支部が実施している健康宣言事業のモデル例の整理と事業所へのフォローアップの強化
- **ジェネリック医薬品の使用促進**
  - ・阻害要因の分析を踏まえた医療機関・調剤薬局へのアプローチの実施
- **地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信**
  - ・外部有識者を活用した協会保有のレセプトデータ等の分析
  - ・新経済・財政再生計画 改革工程表2018及び今後策定される予定の社会保障制度改革の「工程表」の具体化に向けた意見発信

## ● 2019年度の協会けんぽ運営の基本方針

### 組織・運営体制の強化

#### 【目的・目標】

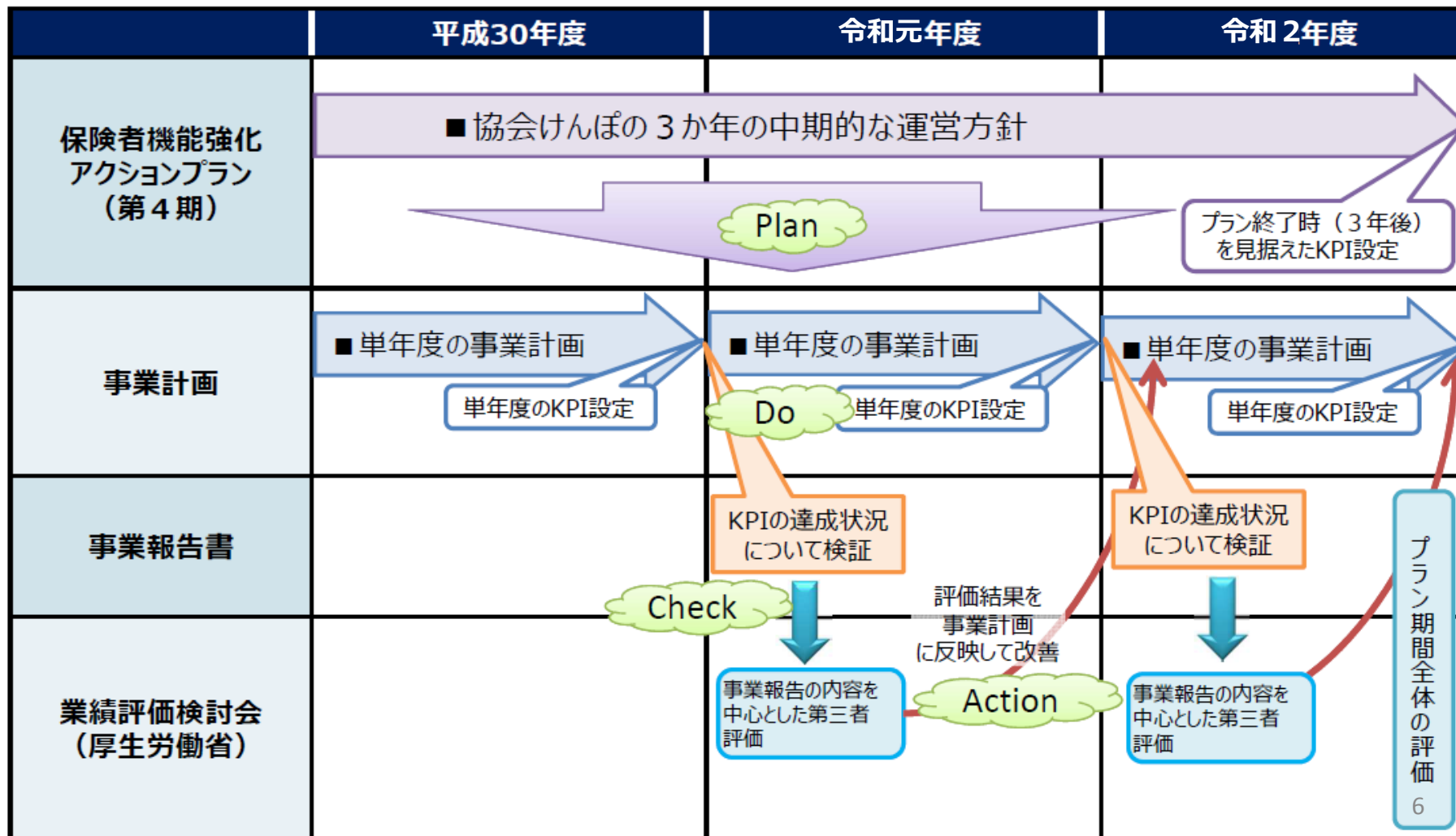
保険者機能の基盤となる組織体制について、標準人員に基づき人的資源の最適配分を行うとともに、OJTを中心に据えた各種研修の充実により、自ら育ち組織を変えていける人材を育成する。また、内部統制の強化及びシステム運営の強化を行う。

#### 【主な重点施策】

- **人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置**
  - ・移行計画の最終年度における標準人員に基づく人員配置
  - ・業務の効率化等の状況を踏まえた標準人員の見直しの検討
- **OJTを中心とした人材育成**
  - ・OJTを中心とした効果的な研修の組み合わせによる組織基盤の底上げ
  - ・戦略的保険者機能の更なる発揮に向けた人材育成の仕組みについての検討
- **内部統制の強化に向けた取組**
  - ・内部統制を強化するための体制整備の検討に着手
- **システム関連の取組**
  - ・次期システム構想の検討に着手
  - ・オンライン資格確認等の制度改正に向けたシステム開発の実施

## ● 保険者機能強化アクションプランに係るPDCAサイクルの強化について

- 協会けんぽでは、これまでも保険者機能強化アクションプランや事業計画に基づく事業運営を行い、その評価を次のアクションプランや事業計画に反映させてきたが、必ずしもそうした関係性が明らかになっていなかった。
- このため、平成30年度以降は以下のとおり、保険者機能強化アクションプランを中期計画と明確に位置付けてKPIを設定するとともに、それを踏まえた事業計画の策定や評価を通じた改善を行うことにより、PDCAサイクルを強化する。



## ② 大阪支部 医療費適正化等予算 総括表 (2019年度)

(単位:千円)

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費
医療費適正化対策経費	企画部門	継続	(適-1)健康経営として事業所とともに取り組む歯周病予防	1,826
		継続	(適-2)歯と口腔の健康と医科医療費の関連性に関する医療費分析	1,100
		継続	(適-3)大阪府、薬剤師会との包括的事業連携	2,475
	合計			5,401

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費
広報・意見発信経費	紙媒体による広報	継続	(適-4)定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、業務用のリーフレットやポスター、及び冊子(しおり)の作成等	25,646
	その他の広報	継続	(適-5)医師等による医療コラム	660
		継続	(適-6)限度額適用認定証の利用促進	963
		新規	(適-7)新適事業所及び健康保険委員活動支援の為の問合せ先案内の作成	1,100
	合計			28,369

計	33,770千円
---	----------



### ③ 大阪支部 保健事業予算計画 総括表 (2019年度)

(単位:千円)

保健指導委託経費	(保-1)中間評価時の血液検査費	1,800
健診及び保健指導に係る 事務経費	(保-2)健診実施機関実地指導旅費	180
	(保-3)医師謝金	52
	(保-4)保健指導用データ等送料	132
	(保-5)保健指導用パンフレット作成等経費	800
	(保-6)保健指導用事務用品費(測定用機器類等)	1,600
	(保-7)保健指導用図書購入費	100
	(保-8)公民館等における特定保健指導	900
	(保-9)健診受診勧奨等経費	43,029
	(保-10)集団健診	49,090
	(保-11)事業者健診の結果データの取得	96,993
	(保-12)保健指導利用勧奨経費	18,321
	その他の保健事業経費	(保-13)保健事業計画アドバイザー経費
(保-14)保健師募集広告経費(支部)		50
(保-15)未治療者受診勧奨		54,620
(保-16)重症化予防対策		12,183
(保-17)情報提供ツール		5,945
(保-18)コラボヘルス事業		3,630
(保-19)その他の保健事業		42,493
合計		332,203

# 2019年度支部調査研究事業(柔道整復施術療養費申請書のデータ分析)の実施

## 調査研究に至る背景

柔道整復施術療養費(柔整療養費)は、多部位・長期・頻回施術等(いわゆる「部位ころがし」)の請求への対策が求められている。しかしながら、協会けんぽのシステムに登録される柔整療養費申請書情報は必要最小限の項目になっており、適正化対策や分析を行うには情報が不足していた。

## 調査研究の目的

- ◆現状では未登録の申請書情報を大阪支部で独自に追加取得してデータ化し、請求項目に着目して平均請求額が全国平均より高い施術所の異常値や傾向値を見出す。
- ◆長期間継続して施術を受ける患者の負傷年月日や初検年月日等の推移や転帰等との関連性を分析し、部位ころがし請求の傾向を定義化(パターン化)することで、審査の効率化および医療費の適正化につなげる。

5カ月分約75,000件の申請書情報をデータ化  
(本年5月～9月実施予定)

調査分析 (本年9月～翌年2月実施予定)

<従来の申請書データ>

- ・施術日数
- ・負傷部位数
- ・合計請求金額
- .....

申請書の一部  
情報のみデータ化

<追加取得データ>

- ・負傷名
- ・負傷部位ごとの  
負傷年月日、施術  
開始・終了年月日
- ・施術料金の内訳
- .....

等

平均請求額が高くなる  
要因の分析

初診患者が多いのか?

施術料金の算定に違い  
があるのか?

負傷部位数や施術日数に  
違いがあるのか? など

部位ころがし請求の  
傾向把握

定期的に負傷と治癒を繰り返して  
施術を受けているのか?

負傷部位ごとに治癒までにどれくら  
いの期間を要しているのか?

平均請求額の高い施術所ほど  
部位ころがしが疑われる患者の  
請求割合が高いのか? など

2019年度末 調査分析結果を本部へ報告予定

## ● 前年度の課題を踏まえた2019年度大阪支部 保健事業の取り組み

### 大阪支部の課題

#### ○特定健診受診率が全国平均より低い

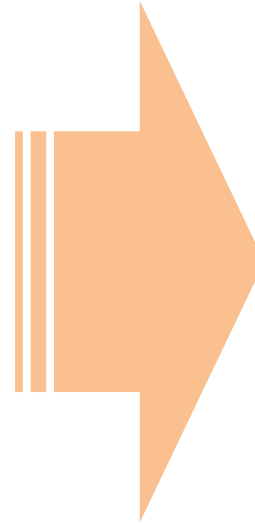
〔主な理由〕

- ▶ 健診機関が少ない
- ▶ 広報不足
- ▶ 健康に対する理解度が浅い

#### ○特定保健指導実施率が全国平均より低い

〔主な理由〕

- ▶ 特定保健指導機関が少ない
- ▶ 指導者のマンパワーが足りない
- ▶ 特定保健指導を受ける時間がない



### 2019年度の取り組み

#### ○生活習慣病予防健診実施機関の拡大

- ▶ 健診実施可能な医療機関への要請文の送付
- ▶ 業界紙を活用した広報の実施

#### ○特定保健指導実施機関の拡大

- ▶ 健診機関に対しての実施要請
- ▶ 特定保健指導導入時の支援

#### ○特定保健指導の外部委託拡大によるマンパワーの確保

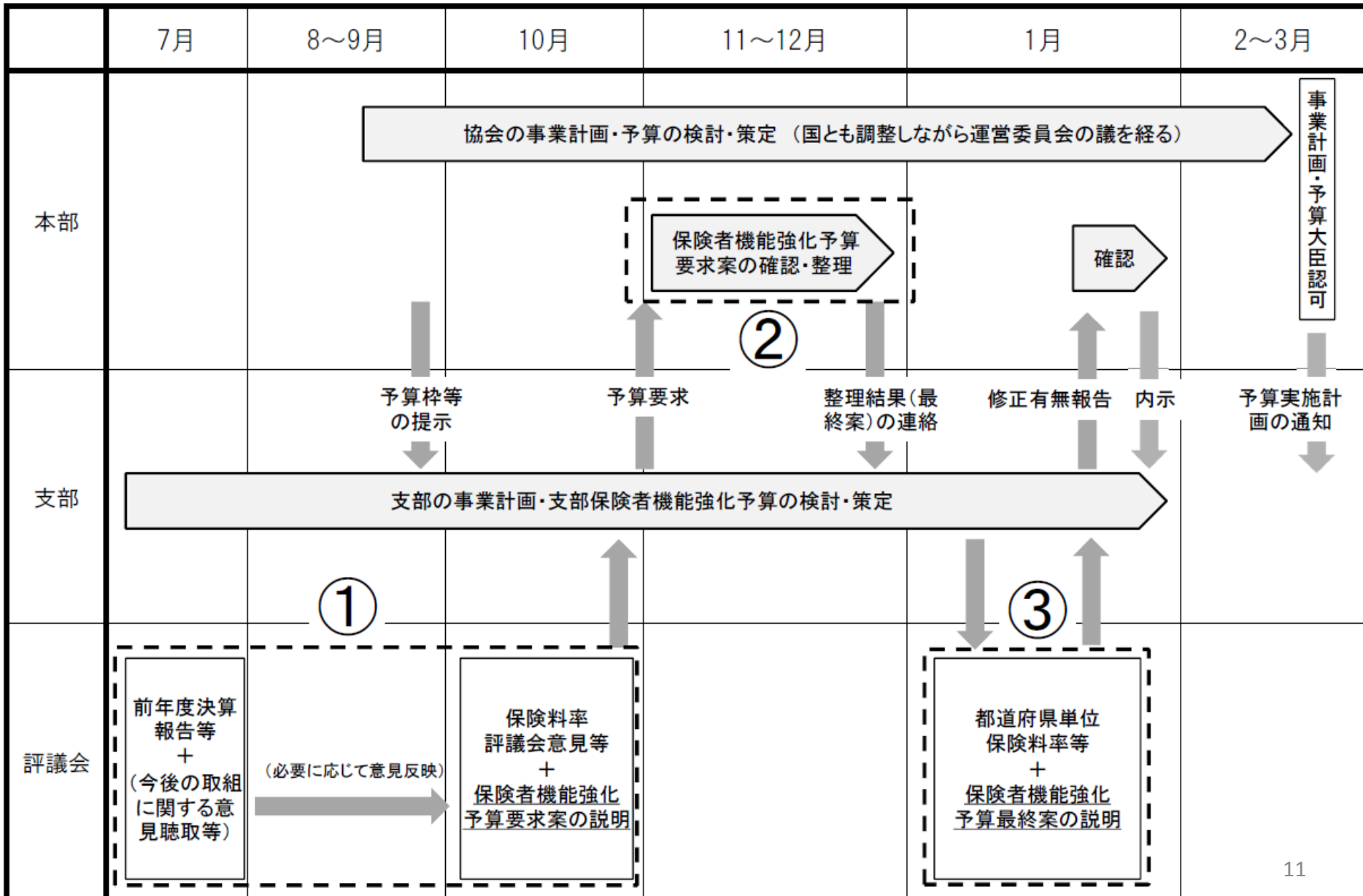
- ▶ 大阪を6エリアに分けエリアごとに外部委託をおこなうことで複数の委託業者のマンパワーを効果的に活用

支部保険者機能強化予算を活用した戦略的保険者機能の発揮

### 主な事業内容

- ▶ 「事業所健康度診断カルテ」を活用した健康経営の推進
- ▶ 「特定健診(被扶養者)」と「市町村が実施するがん検診」の集団型での合同実施
- ▶ 事業者健診データの外部委託を活用した効率的な取得

● 2020年度に向けた支部保険者機能強化予算の評議会との関係(標準的なプロセスの例)



## ● 2019年度 大阪支部評議会 スケジュール(予定)

年度	回	開催年月日	議題
2019	1	平成31年4月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度 保険料率の決定について</li> <li>・第4回近畿ブロック評議会について</li> <li>・2019年度 制度改正について</li> <li>・2020年度 支部保険者機能強化予算策定に向けた意見交換について</li> </ul>
	2	令和元年7月11～22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度 決算(見込み)について</li> <li>・2018年度 大阪支部事業報告について</li> <li>・2020年度 支部保険者機能強化予算について</li> </ul>
	3	令和元年10月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度 平均保険料率について</li> </ul>
	4	令和元年12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度 上期事業実施状況について</li> <li>・2020年度 大阪支部の取組みにかかる経費(案)について</li> </ul>
	5	令和2年1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度 保険料率について</li> <li>・2020年度 大阪支部事業計画(案)について</li> </ul>
	6	令和2年3月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度 保険料率決定について</li> </ul>

★ 次回評議会(第2回)では、2020年度 支部保険者機能強化予算の策定に向けた取り組みのご意見やアイデアなどを頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## (参考) 2017・2018年度 大阪支部評議会の開催状況について

年度	回	開催年月日	議題
2017	1	平成29年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 決算(見込み)について</li> <li>・平成28年度 大阪支部事業報告について</li> </ul>
	2	平成29年10月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 平均保険料率について</li> <li>・インセンティブ制度について</li> </ul>
	3	平成29年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者機能強化アクションプラン(第4期)について</li> <li>・平成30年度 大阪支部独自の取組みにかかる経費案について</li> </ul>
	4	平成30年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 大阪支部事業計画案について</li> <li>・平成30年度 保険料率について</li> </ul>
	5	平成30年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 保険料率の決定について</li> <li>・第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)について</li> <li>・インセンティブ制度の本格実施について</li> </ul>
2018	1	平成30年7月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 決算(見込み)について</li> <li>・平成29年度 大阪支部事業報告について</li> </ul>
	2	平成30年10月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度 平均保険料率について</li> <li>・健康保険制度見直しに係る国への要望について</li> </ul>
	3	平成30年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長の選任について</li> <li>・平成30年度 上期事業実施状況について</li> <li>・支部の平成31年度予算(支部保険者機能強化予算)について</li> </ul>
	4	平成31年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度 保険料率について</li> <li>・平成31年度 インセンティブ制度について</li> <li>・平成31年度 大阪支部事業計画(案)について</li> <li>・平成31年度 大阪支部の取組みにかかる経費(案)について</li> </ul>
	5	平成31年3月	平成31年4月(今回開催)に延期